

緩和和支持医療科

平成25年4月1日開設

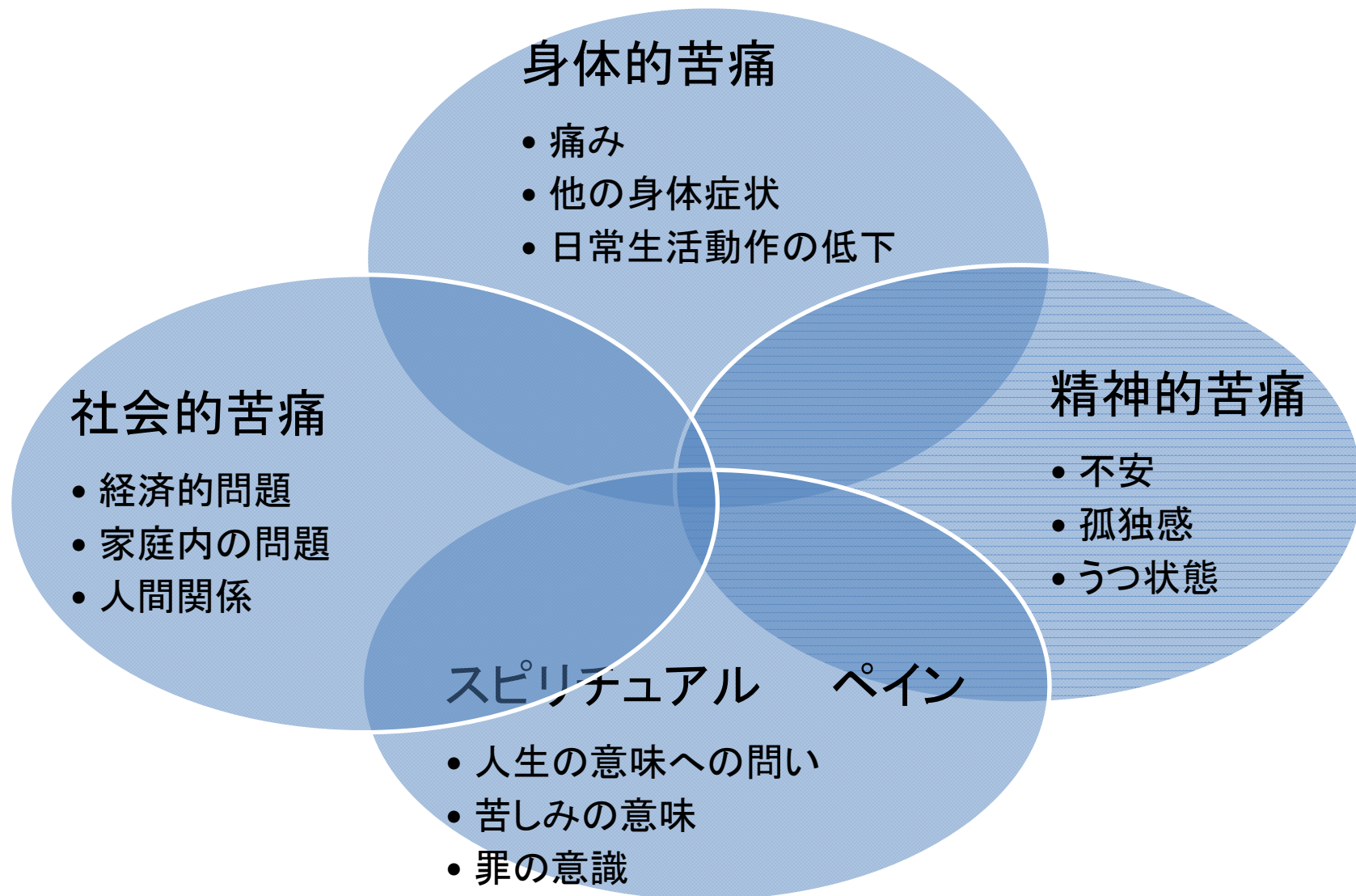
緩和支援医療科はなにをする科？

緩和ケアとは (WHO,2002)

生命を脅かす疾患に伴う問題に直面する患者と家族に対し、疼痛や身体的、心理社会的、スピリチュアルな問題を早期から正確にアセスメントし解決することにより、苦痛の予防と軽減を図り、生活の質(QOL)を向上させるためのアプローチである。

病期に伴う様々な苦痛を様々な方法で軽減し、生活の質を高める。

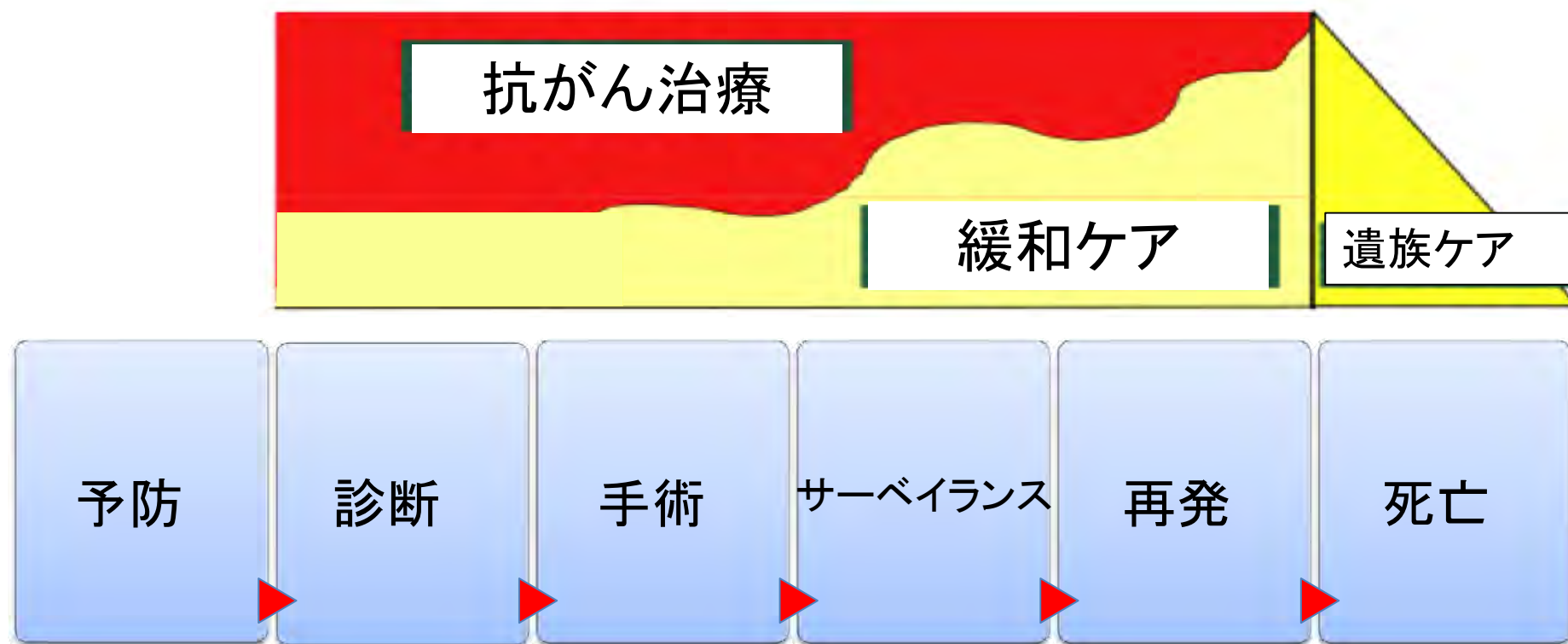
病気に伴う治療すべき苦しみ



がん対策推進基本計画

診断の時から治療と併行して、緩和医療を行うことが必要である。

サバイバーシップと緩和支持医療



がん治療の専門性と緩和支持医療

消化器外科・内科

呼吸器外科・内科

口腔外科

脳外科

泌尿器科

放射線科

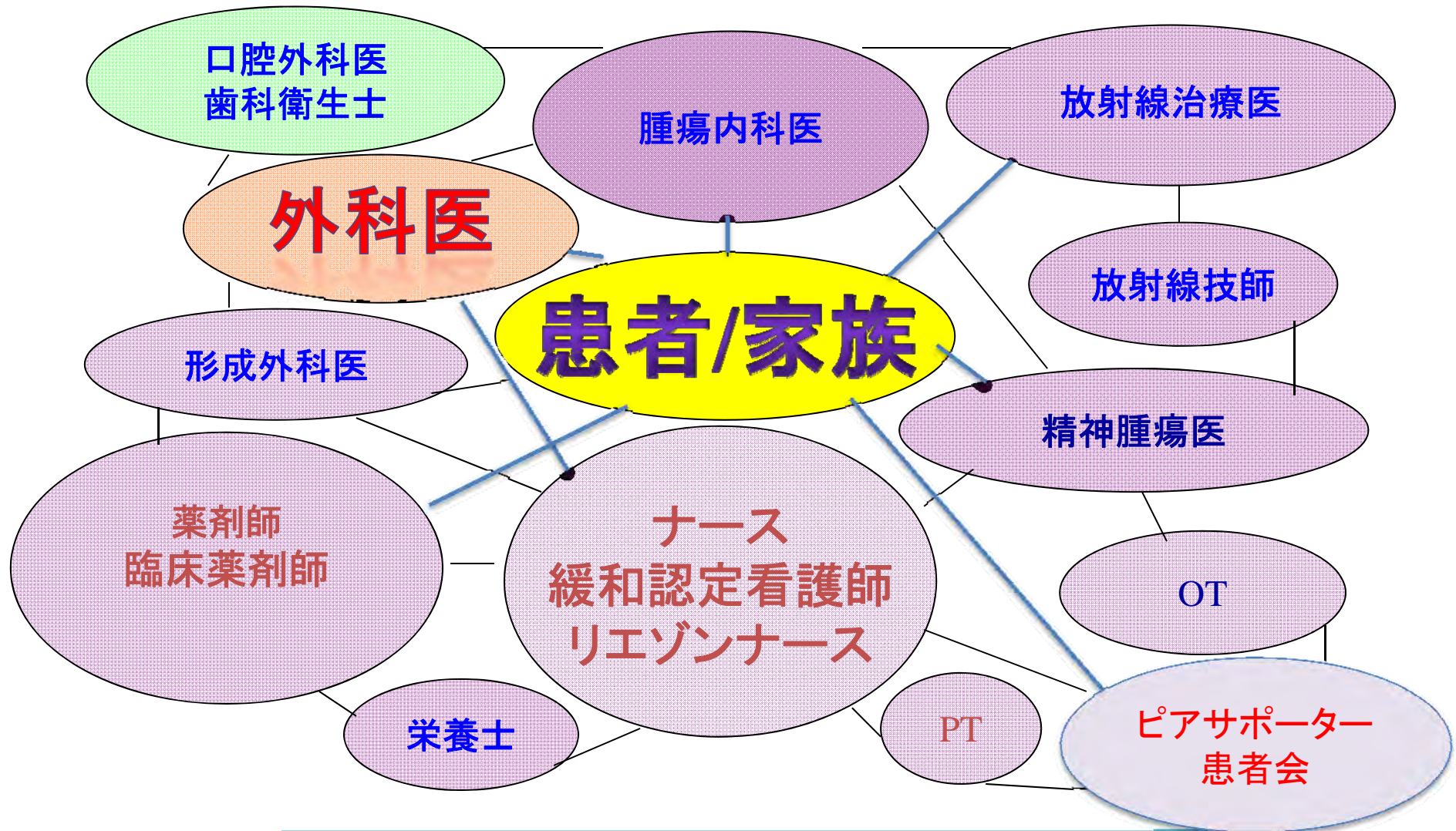
緩和支持医療科／精神腫瘍科

各専門科

緩和医療科はチームで活動する

- 院内緩和チームを組織し、コンサルテーション型の緩和チーム活動を行う。
- 院内各科、特に各腫瘍内科、各腫瘍外科、放射線科、麻酔蘇生科、精神科、さらに腫瘍センター、薬剤部、総合支援センター、栄養部の協力でチームを組織し、院内の患者診療を行う。
- 院内においてコントロールが困難な症例にたいして、オピオイドの使用、鎮痛補助薬の使用、呼吸困難の治療、精神的痛みの治療、薬物以外のブロック、放射線治療などの総合的な痛みの治療を提案し提供した。

緩和支持医療ネットワーク



すべての人がそれぞれの立場からアプローチ

がん以外の疾患における緩和

- 心不全
 - 神経難病
 - 腎不全
 - 呼吸不全
 - 高齢者
-
- 様々な診療科との連携をはかる。

岡山大学緩和チームのミッション

- 患者・家族中心の質の高い緩和ケアを実現し岡山から全国へ拡げる

岡山大学緩和チームのビジョン

- 1) 患者・家族中心とした質の高い緩和ケアを学生・医療従事者・患者そして家族へ教育する仕組みを確立する
- 2) 教育の仕組みを岡山から他の地域へと拡げる
- 3) 質の高い緩和ケアのビジョンを病院から地域・社会へと拡げる
- 4) 病に苦しむ患者・家族の生活の質をこの活動により向上させる
- 5) 緩和医療に携わる医療従事者の生活の質を向上させ、この活動により満足をもたらす